

# 議会だより

第157号

2013年8月

# にらさき

第2回定例会 .....	P2
委員会活動報告 .....	P4
議決結果一覧表 .....	P5
ここが聞きたい(一般質問) .....	P6
こども議会 .....	P11
研修報告 .....	P11・12



こども議員のみなさん

(**姫崎東中学校・姫崎西中学校2年生**)

平成25年8月8日

## 第2回定例会

平成25年第2回葦崎市議会定例会は、6月6日に招集され、会期を6月21日までの16日間と定め審議を行いました。

今議会で審議された案件は、条例の改正や補正予算など18案件であり、請願について不採択となりましたが、他の議案は原案のとおり可決・承認・同意等されました。

### 【補正予算】

一般会計補正予算（第1号）及び簡易水道特別会計補正予算（第1号）が、財務常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。

主な内容は以下のとおりです。

### ■ 平成25年度葦崎市一般会計補正予算（第1号）

《補正予算額》 2億7,242万円

#### ● 主なもの（歳入）

- 生活保護適正化推進事業費補助金  
126万円
- 運動部活動地域連携再構築事業費補助金  
260万円
- 介護基盤緊急整備等臨時特例基金事業費補助金  
25万2千円
- 難聴児補聴器購入事業費補助金  
28万2千円
- 新規就農総合支援事業補助金  
150万円
- 財政調整基金繰入金 1,704万8千円
- コミュニティ助成金（宝くじ助成金）  
430万円

#### ● 主なもの（歳出）

- 社会福祉団体支援事業 112万4千円
- 要援護者支援事業 25万2千円
- みんなで支える地域福祉推進事業  
△16万1千円
- 老人福祉センター管理運営事業  
54万円
- 重度心身障害者医療費助成事業  
42万8千円
- 軽度・中等度難聴児支援事業 56万4千円
- 児童福祉事務諸経費 20万7千円
- 保育所運営事業 24万2千円
- 保育園再編推進事業 53万6千円
- 生活保護適正化推進事業 126万円
- 静心寮生活費 357万円
- 予防接種事業 476万1千円
- 新規就農者支援事業 150万円
- 市単独道路整備事業 173万9千円
- 市立公園等管理事業 48万3千円
- 建築一般行政事業 200万5千円
- 災害対策事業 200万円
- 小学校給食運営事業 90万9千円
- 地区公民館運営事業 240万7千円
- 生涯学習市民講座開設事業 23万2千円
- 運動部活動地域連携再構築事業  
264万4千円

## ■ 平成 25 年度 葦崎市簡易水道特別会計補正予算（第 1 号）

《補正予算額》 △ 9, 3 3 6 万 2 千円

### ● 主なもの（歳入）

● 財産補償料 △ 9, 3 3 6 万 2 千円

### ● 主なもの（歳出）

● 簡易水道整備事業 △ 9, 3 3 6 万 2 千円

## 【人事案件】

以下の各人事案件について同意しました。

### ■ 葦崎市監査委員の選任

日 向 亘（藤井町北下條）

## 【選 挙】

### ■ 大内窪外老字恩賜県有財産保護組合議員の選任について

大内窪外老字恩賜県有財産保護組合議員の任期が平成 25 年 7 月 13 日満了となるため、選挙を行いました。

野 澤 武 人（中田町中條）  
水 上 晃 治（中田町中條）  
高 保 基（中田町中條）

### 【条例制定（新規）】

#### ◆ 葦崎市子ども・子育て会議条例

子ども・子育て支援法の施行に伴い、子ども・子育て会議の設置とその会議に必要な事項を定めました。

#### ◆ 葦崎市景観条例

葦崎市景観計画の策定に伴い、景観計画や景観法に基づく行為の制限など必要な事項を定めました。

#### ◆ 葦崎市職員の給与の臨時特例に関する条例

地方公務員給与に係る地方交付税の削減により市民サービスを低下させないために、職員の人件費を削減する必要があるため、この条例を定めました。

#### ◆ 葦崎市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例

地方公務員給与に係る地方交付税の削減による市民サービスを低下させないために、支出の削減を図る観点から議員報酬月額について、議長は、100分の8、副議長は、100分の7、議員は、100分の6引き下げのため、この条例を定めました。

### 【条例制定（一部改正）】

#### ◆ 葦崎市税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、葦崎市税条例の固定資産税・特別土地保有税及び都市計画税に関し、所要の改正を行いました。

#### ◆ 葦崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、特定世帯に係る世帯割平等割額を最初の5年間2分の1減額する現行措置に加え、その後3年間4分の1減額する措置を講じる改正を行いました。

#### ◆ 葦崎市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

山梨県ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱の一部改正に伴い、対象児童に、父又は母が配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第10条第1項の規定による命令を受けた児童を追加する改正を行いました。

#### ◆ 葦崎市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正

山梨県重度心身障害者医療費助成事業費補助金交付要綱の一部改正に伴い、該当する施設に入所している者で、国又は地方公共団体の負担による医療費の支給を受けることができる者は制度上いないことから、当該箇所を削除する改正を行いました。

# 委員会活動報告

今議会より、条例案等が委員会付託されることになりました。

## 総務教育常任委員会の審査結果

〔6月20日委員会を開催〕

○議案第66号の「建物の処分について」の案件を審査いたしました。

対象物件：薬師岳小屋（鉄骨造平屋建

54.3㎡）の管理者への譲渡

採決では、全員一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第67号の「韮崎市職員の給与の臨時特例に関する条例」の案件を審査いたしました。

本来、市職員の給与は今回のように国から指示されるべきものではないので反対であるという意見がありました。採決の結果、多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

引き続き、各関係課長に、現状報告と概要説明を求め、質疑を行い継続審査について審議しました。

本会議において、議案第66号の「建物の処分について」の案件は全会一致により原案可決となりました。議案第67号の「韮崎市職員の給与の臨時特例に関する条例」の案件は、「意義あり」の声があり、起立採決の結果、「起立多数」により原案可決となりました。

## 市民生活常任委員会の審査の結果

〔6月20日委員会を開催〕

○議案第64号の「韮崎市子ども・子育て会議条例」の案件について審査を行いました。

採決では、全員一致により原案どおり可決すべきものと決しました。

○請願第25―1号の「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める請願」の案件について審査を行いました。

《請願の趣旨》

国民健康保険は、国民皆保険制度を実現するものとして制度化されたものです。国は各保険者の総医療費の45%を国庫負担していましたが、今では国庫支出の割合は、20%台まで落ち込んでいます。

事業主負担もない国保は、適切な国庫負担なしには成り立たない医療保険です。国民健康保険が安定的に運営し、社会保障制度として持続させるため国庫負担が必要です。

《審議結果》

県費の負担金が増額されているなどの意見があり、採決では、全会一致により不採択にすべきものと決しました。

○請願第25―2号の「生活保護基準の引き下げ中止の意見書を求める請願」の案件について審査を行いました。

《請願の趣旨》

政府は、生活保護費の削減方針を決定し、過去最大の引き下げを実施しようとしている。

これまでも国は、生活保護の老齢加算を廃止し、毎月の生活保護費を約2割減らしました。生活保護基準の引き下げは、最低賃金や就学援助など各種制度の切り下げにつながり、多くの低所得者にも波及して生活の厳しさをさらに増すことになる。

国民生活の最低保障基準の土台をなす

生活保護制度は、国が責任をもって保障すべきである。

《審査結果》

弱者切捨てと取れるものであり、その他の制度にも影響があるので必要との意見がありました。採決の結果、挙手少数により不採択にすべきものと決しました。

引き続き、各関係課長に、現状報告と概要説明を求め、質疑を行い継続審査について審議しました。

本会議において、議案第64号の「韮崎市子ども・子育て会議条例」の案件は、全会一致により原案可決となりました。請願第25―1号の「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める請願」の案件及び請願第25―2号の「生活保護基準の引き下げ中止の意見書を求める請願」の案件は、「意義あり」の声があり、起立採決の結果、「起立多数」により不採択となりました。

## 産業建設常任委員会の審査の結果

〔6月20日委員会を開催〕

○議案第65号の「韮崎市景観条例」の案件について審査を行いました。

採決では、全会一致により原案どおり可決すべきものと決しました。

引き続き、各関係課長に、現状報告と概要説明を求め、質疑を行い継続審査について審議しました。

本会議において、議案第65号の「韮崎市景観条例」の案件は、全会一致により原案可決となりました。

# 平成25年 第2回定例会議決結果一覧表

(野口紘明議長を除く)  
○賛成 ●反対

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	奥石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	清水一	結果
報告	第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案	第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
	第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第67号	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	可決
	第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願	第25-1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	不採択
	第25-2号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	●	不採択
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
選挙第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選

# 一般質問

## にらさきの まちづくり ここが聞きたい

### 9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。  
詳細な内容は、[葦崎市ホームページ](#)⇒[市議会](#)⇒[会議録検索](#)で見ることができます。録画中継も配信しています。



清水 一 議員

[葦政クラブ]

#### その他質問

- ◆公共施設の使用規程と運用について
- ◆「葦崎市の宝」甘利山の自然保護と今後の対応について

#### 事業について

**質問** JR葦崎駅前を整備し、葦崎市の玄関口にふさわしい景観と、より良い利用環境を整える本事業については、当議会においても先般承認したところであります。

本事業の実施にあたり議会や地域説明会及び関係団体から何点か課題が提起されております。市民の皆様からの指摘や意見に対し、明確に説明し、理解、納得をしていただく事が事業推進にとって不可欠であります。先般、事業の概要が提示されました。その中で、(一)駅ロータリー東側のタカトウコヒガンザクラについて別の場所へ移植するとしているが、その根拠は何か。移植した場合、現存の桜はそれが可能なのか。専門家の見解はどうなのか。(二)西側にある六本のイチヨウの

木について伐採処分すると思いますが、駅前景観からしても残すべきと思うが、伐採する理由は何か。(三)利用者の利便性をはかるとしているシエルトの設置について、必要性が無いとの意見もあるが、シエルト設置の必要性についての考えは。

地区説明会等でタカトウコヒガンザクラについては、強く存続を求める意見が多いと聞いております。利便性や修景を追求するだけでなく、市民の声を考慮し、桜を存続させた都市空間の創造が可能ならば再検討すべきと考えます。(四)市長も市民の声を尊重し、一部見直しを図るとしていますが、その内容は如何か。この事業は、葦崎駅周辺地区社会資本総合整備計画の中で魅力ある賑わいのある市の玄関口づくりの一環として行われるものであり、本市の観光や商工業の活性化を図るうえで重要であります。

す。そこでこの際、駅舎の改修、整備も併せて行うべきだと思えます。最近、甲府駅(北口)や竜王駅は全面改築がなされ、隣駅の塩崎駅も改修、整備が行われております。(五)我市の玄関口であるJR葦崎駅の駅舎も改修、整備すべきと考えますが、お考えは如何か。(六)葦崎駅への「特急かいじ」乗り入れと、竜王駅までの特急料金を同額で葦崎駅まで延長することの実現により葦崎市の活性化は飛躍的な変化をとげると確信するものであります。市長のお考えは。

**答** 市長 桜の現状を見ると、底地が狭小で植込み間隔も狭いため成長が止まってしまったものや一部枯れ始めているものなど、半数以上が樹勢に問題ありと診断された。専門家の調査結果は移植した場合、確実性の高いものは半数である。

JR東日本を訪れ、特急かいじの延伸、特急料金の軽減等を要望活動してまいりました。同額料金は、非常に難しいとのことでしたが、引き続き働きかけを行ってまいります。



西野 賢一 議員  
[葦政クラブ]

### 通学路の緊急合同 点検調査34力所の 進捗状況について (倒壊危険家屋含 む)

葦政市長 平成25年3月末現在、対策必要34力所のうち、約73%に当たる25力所が学校による安全指導の徹底、保護者やボランティアによる見守り、道路管理者による改善等、安全対策を実施しております。また、残りの9力所につきましても、今後道路管理者による安全対策を要望してまいります。倒壊の危険のある空き家の所有者に対し適正な管理を促すため、現在、条例化に向けて、庁内ワーキンググループによる調査研究を行っております。

### 市道(葦崎)1号 線歩行者用道路の 整備内容について

葦政市長 歩道の縦断勾

配を緩やかにして、現状よりも歩きやすい歩道を整備する予定であります。また、防犯対策として、現在ある防犯灯を新しい歩道にあわせて移設し、照明器具をLEDに変更し、明るさを確保するとともに、歩道周辺の樹木の伐採等を行い、日が差すようにして、日中でも薄暗かった状況を改善する予定です。

葦政市長 消防備品の整備につきましては、各分団との聞き取り調査をしながら、装備の充実に努めておりますが、さきの林野火災における消火活動の実態等を踏まえ、効果的な消火ができるジェットシューターなど、安全で効率的な消防活動が行えるよう、引き続き対応してまいります。園児施設や小・中学校への無線機の配備については、今後の課題とさせていただきます。アルファ米は、現在、市内各小・中学校7力所、ニコリの地下防災備蓄倉庫及び市役所倉庫に

### 消防団活動・備蓄 食料について

葦政市長 昨年度の公共交通機関の利用者数につきましては、葦崎駅の乗降者人数は1日当たり5,200人、バスについては840人と、公共交通機関だけでも6,000人以上が利用していると推計され、葦崎駅周辺については、平成21年にはライフガーデンにらさき、平成23年には市民交流センターニコリと大型集客施設がオープンし、1日平均約1万人が利用されていることから、以前と比べ、駅周辺への人の流れは大幅にふえているものと推測しております。駅前のにぎわいについては、桜を残してほしいということと、変更計画になった。将来的には、私自身もまだわかりませんが、シェルトアがニコリまでと、市民のそういった要望が強くなったときに、また考えさせていただきます。

### 葦崎駅エリアの 状況について

1万6,300食、飲料につきましても、ペットボトル3,400本をそれぞれ備蓄しており、今後も計画的に補充してまいります。



高添 秀明 議員  
[葦政クラブ]

### 特別会計について

質問 最初の質問は、国民健康保険特別会計についてであります。

まず、その考え方でありますが、地方自治法第209条第2項に、「特別会計は、普通地方公共団体が特定な事業を行う場合その他特定の歳入をもって特定の歳出に充て一般の歳入歳出と区分して経理をする必要がある場合において、条例でこれを設置することができ」と規定されております。この規定に基づき本市においては、条例を制定して、14の特別会計があり、必要な事業を実施して、市民福祉の向上に寄与しております。

しかし、本年度の当初予算において、一般会計から国民健康保険特別会計に3億1474万4千円を繰出す予定です。平成23年度決算においても2億3329万円を繰出

### その他質問

- ◆本市の活性化に向けた住宅政策について  
1) 中・低所得者向け住宅について  
2) 高所得者向け住宅について
- ◆指定管理者制度について
- ◆新府城跡の整備について

してあります。

特別な事情が発生して、特別会計の運営に支障をきたす場合は、一般会計からの繰出しも必要と思っておりますが、この繰出しは恒常的になっております。

私は、この一般会計から恒常的な繰出しは、先ほど示した法律の趣旨から離れてしまっていると思っております。

国民健康保険特別会計を赤字経営にしたいくないことは解りますが、無秩序な繰出しはすべきでないと思っております。市長の見解をお伺いします。

葦政市長 まず、考え方についてはあります。

国保財政の安定化を図るために、一般会計から国保特別会計へ繰り入れを行うことは、今までも慎重に議論されてまいりました。さまざまなお意見がございますが、国保財政の健全な運営、保険基盤の安定化のために、一般会計からの財政支援

である繰入金金は、必要な財源であると認識しております。

質問 次に、今後のあり方についてであります。全国的に各自治体はこの国民健康保険特別会計の運営には苦慮しております。

このため、国県からの負担を増額する、あるいは、広域化する等改革にむけての意見が出ております。

市長も国や県に対し意見や要望を行っていると思っておりますが、どのような様子をこなしているかお伺いします。

葦政市長 国や県に対する要望行動ですが、国庫負担割合の引き上げなどによる国保財政基盤強化策の拡充、地方単独事業による減額査定措置の廃止などについて、機会をとらえ求めてきたところであり、引き続き、全国市長会等を通じ要望して参ります。



清水 正雄 議員  
[共伸クラブ]

### 事業の見直しについて

**質問** 駅前広場の歩道に雨よけの屋根をかけ、タカトウコヒガンザクラを移動する整備事業に対し、市民の間では「必要性のない事業に税金を使うな」という非難声が増えています。  
**市長** 市が開催した事業説明会では出席者全員が反対意見でした。市長所信表明で、一部見直しを表明しました。どこの部分を見直したのか。  
**質問** 雨よけの屋根設置予定区間のうち、タカトウコヒガンザクラの植わっている60mのうち、市民交流センター側の40mは現存のまま残します。その間は屋根も設置しませんが、それ以外の区間は予定通り設置します。  
**質問** 桜の所有権は市文化協会にありますか。協会は了解していますか。

### その他質問

- ◆まちなか活性化計画について
- ◆夏の観光シーズンに向けての環境整備について

**質問** 課長 本議会で議員の皆さんにお知らせをしたその後、文化協会に説明する段取りになります。

**質問** 一部見直し部分の事業量縮小後の総事業費はいくらか。

**質問** 課長 屋根の分40mと桜の処分費が減りますが、ライフガーデン側の階段に新たに設置しますので事業費は同じ程度になります。

**質問** 変更後の計画については、説明会を再度開くべきでは。  
**質問** 課長 ホームページ並びに広報により周知します。

### 子育て支援について

**質問** 昨年4月、市立児童センターの午前中閉館に踏み切りました。一方、保育園の統合整備では、現存の9園を3園又は4園に縮小する計画を立て、本年度から新保育園建設

に取り組んでおります。

少子化をうけ利用者や園児も少ないことはあるが、簡単に閉館や統合を決めてしまうと、葦崎では安心して子育てができなくなりそうです。子どもの数が少なくなつた現象だけをとらえた場当たりのよいだろうか。

将来を見据えた子育て支援ビジョンの確立が必要と考えるが。

**質問** 市長 保育園では0歳児からの未満児保育が当たり前となり、児童センター利用者が少なくなります。保育園の統合は「検討委員会」の提言を頂き市民の理解は得られているものと認識しています。今後は新たに設置します「子ども子育て会議」に意見を求め、支援を考えます。

### 国政に対する市長の見解について

- 1 憲法第9条と、第96条の改正について
- 2 領土問題について
- 3 東北大震災と原発輸出について

**質問** 二年前の東北大震災の、原発による放射能汚染災害の恐怖が未だ全然拭い去られておらず、何の解決策も打てないなか、安倍総理はインド、東欧に原発のトップセールスを敢行しております。放射能汚染に、まみれた福島を中心とする被災者の人々はどういう心境でこれを見ているのでしょうか。市長の見解を求めます。  
**質問** 市長 これらの問題については国民の理解を得ることが最も重要であり、今後も衆参両院並びに与野党間で議会を通じて徹底的に議論をつくし、より分かりやすい形で国民に情報提供されること



秋山 泉 議員  
[共伸クラブ]

### その他質問

- ◆町の活性化と観光について
- 1) ヒルクライム
- 2) アユ釣り大会
- 3) 駅前電線地中化工事
- ◆落雷被害対策について
- 1) 公共施設の落雷被害対策

が必要と考えます。

**質問** 現在地方分権、地方自治が声高く叫ばれている中、市長さんにも個人的な見解、お考えはあろうかと思えます。市民に対して、少しでも安心安全な心象与える意味でも再答をお願ひします。

**質問** 市長 地方議会に於いてこのような問題は、議会においてはなじまないというふうには私は思いません。

### 南アルプス世界自然遺産とエコパークについて

**質問** 自然遺産登録のハードルの高いことからその前段階としてユネスコエコパークの登録を目指していますが、地域住民また地域にとつてのメリットは？またリニア新幹線は南アルプスのど真ん中を総延長52kmのトンネルに時速500キロのリニアカーが走る。その真

上が世界自然遺産になるのでしょうか。  
**質問** 市長 その地域の活動が世界的に認められるため自然や文化産業等を世界へアピールでき、環境保全が体系的に図られ、自然環境を知り、学び、活用することで郷土愛を育みます。またユネスコエコパークは国内の既存法や制度により管理されるものであり現行の法律等に即したものであれば登録との整合性はあるものと考えます。

### 自転車の交通安全対策について

**質問** 昨今、交通事故は自転車による事故がその2割を占め、増加の一途です。6月7日改正道路交通法が成立しました。自転車通学の生徒への指導はいかがでしょうか。  
**質問** 矢巻教育長 東西両中学校においては、4月入学時に警察署の協力のもと、交通安全教室を開き、強い指導を実施しています。また1年生では、自転車の保険に加入しますが、毎年度書き換えが必要ですので指導しています。



森本由美子 議員  
[公明党]

### ピロリ菌検査の導入について

**質問** ピロリ菌は、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌の原因となり日本人の50歳以上の45%程度が感染しているとされており、ピロリ菌の除菌については、本年2月21日から、症状の軽い胃もたれなどの慢性胃炎であっても、呼吸検査などで感染が確認され、内視鏡で慢性胃炎だと診断されれば除菌に保険が適用されることになりました。検査によるピロリ菌の早期発見で除菌することにより胃がんの抑制ができるのであれば、本市としてもピロリ菌検査を検査項目に導入し、検査費用を助成すべきと考えますが、市長のお考えは。

### その他質問

- ◆保育料の軽減について
- ◆火災等の被災時に必要とする支援のマニュアル化について
- ◆三ツ石地区内の国道20号線沿いへの信号設置について

指定医療機関で導入しており、検診車による検査は現段階では不可能であります。

**回答** 本市の特定健診の受診率48・8%に対し、胃がん検診は8%というわずかな方しか胃がん検診を行っていません。バリウム検査には抵抗があると聞きます。ピロリ菌検査の一つであり、簡易な血液検査で胃がん発症のリスクを示すABCリスク検査を、この特定健診を受けた48%の方々が受けることで、バリウム検査の6倍の方の、早期発見、早期治療に繋がっていくものと考えます。

**質問** 保健課長 国としてはエックス線検査を推奨しているのですが、現段階では導入は困難であります。

### 乳がん検診でマンモグラフィに超音波の併用を

**質問** マンモグラフィは非浸潤癌を見つけるのに有効であり、超音波は浸潤癌のしこりを発見することが多いと言われています。血縁者に乳がんの方がいるなどのリスクの高い方で、希望があれば、同時に超音波検査を併用できる対応が必要と考えますが。

**回答** 両検査には一長一短があり、一検査のみによる乳がん検出率は80%から90%とされていることから、本市では隔年で交互に実施しています。

### 女性特有のがん検診率向上について

**質問** 5年目となる5歳刻みの無料クーポン券配布事業の検証と事業の継続については。

**回答** 受診勧奨事業の方策の一つとして、微増だが年々受診者も増え成果があるものと考えます。明年度以降は、国の動向を注視します。



小林 伸吉 議員  
[公明党]

### 市民の健康維持、促進について

**質問** ラジオ体操を推進している甲斐市が、「チャレンジデーの参加率全国一位」と新聞に載っていました。市民の健康維持としてラジオ体操は大変に効果的であります。年少者から高齢者まで手軽に参加できる。市民の健康維持活動として、ラジオ体操の普及推進を市は取り組む必要があるが、市の考えは。

**回答** ラジオ体操などの普及推進については、既に、健康教育事業の中でスポーツ推進委員の協力を得て、その効果等もお示し、実践しておりますので、地域での機運の盛り上がり方を期待するところです。

### 防災・減災への取り組みについて

**質問** 東日本大震災の教訓を生かし、災害対策を強化する災害対策基本法改正案が、参議院本会議で可決しました。改正のポイントの一是、災害が発生し、自治体の業務遂行が困難になった場合、自治体にかわって被災者の救援活動や道路の障害物除去などの応急措置を国が代行する。二是、被災弱者、災害時要支援者対策の強化。三是、災害による住宅などの被害状況を示す罹災証明書を自治体が速やかに発行すると明記した点です。そこで災害時に我が市の業務遂行、事業継続をどのように対策しているのか伺う。

### その他質問

- ◆風疹ワクチン接種費用の助成について
- ◆塩川堤防のサイクリングロードについて

依頼し、リスクの軽減を図っています。

**質問** 災害弱者・災害時要支援者対策の強化、特に要支援者の名簿義務化と取り扱いについての対応は。

**回答** 災害弱者対策については、昨年、韮崎市災害時要支援者避難支援制度実施要綱を定め、同意を得られた高齢者、障害者、要介護者を対象に台帳整備を行い、本年度より、民生委員、地区長、消防団等に情報提供をしています。要支援者等を対象とした福祉避難所についても、市内事業者と協定を締結し、受け入れ体制の強化を図っています。

**質問** 指定避難所の避難運営訓練等を実際に行う必要があると考えますが。

**回答** 総務課長 本年から避難所運営訓練をしていきたいと考えております。



藤嶋 英毅 議員  
〔経世クラブ〕

### その他質問

- ◆中山間地総合整備事業の簡易水道組合施設整備事業への市政負担について
- ◆葦崎駅周辺(旭町側)の改修について

## 憲法96条改正に関する市長の見解について

**質問** 自民党はじめ憲法を改正しようとする勢力は、憲法改正の発議要件を緩和し、憲法を改正しやすくする憲法96条の改正を参議院選挙の公約とすることを狙っております。憲法96条改正は、戦争放棄の憲法9条改正につながるものだとの明言もあります。

**回答** 国民の権利を守るため世界の平和を守るため憲法96条を改正すべきではありません。市長の見解は。

**質問** 市長 立憲主義の観点から十分な議論をつくり、国民のコンセンサスを得ると同時に、平和国家として国際的な信頼を得る中で、今後も世界平和に大きく貢献されることを期待しております。

## 耕作放棄地管理について

**質問** 平成24年の葦崎市内の耕作放棄地は、総面積で4,306,721㎡であります。

地域によっては、団地で放棄地の対応をしたり、隣接者が善意で何らかの処置をしている状況も見られます。地域の善意や協力も必要なことであり、しかし、私は、葦崎市としての対応も必要と考えます。市長の見解は。

**回答** 近隣からの苦情があった場合には、その都度、土地所有者に対して、適正な管理を通知し、指導してきたところであり、指導してきたく所です。

周辺の地域における営農条件に著しい支障が生じる農地については、土地所有者の管理義務、是正措置等の対策について、今後、条例化も含めてワーキンググループにて検討して参ります。

## 市内小中学校教育後援会の「備品等」

## 購入への市の財

**質問** 教育後援会は、保護者をはじめ地域の市民から会費を徴収し、学校の環境整備や部活動に使用しております。一方会員の中には後援会での購入に異論もありません。

**回答** 本来葦崎市が支援すべきではないか。

**質問** 市長 市内各小・中学校の教育環境の整備や教育振興に要する予算につきましては、従来から各学校から要望・意見を聞き、その必要性に、緊急性、効果などを勘案する中で、その施設規模等に応じた予算を確保しているところであり、次に、通学路の看板の取りかえにつきましては、平成24年度第9次義務教育振興のための葦崎市への要望事項において、看板を市で一括作成し、各学校に配布してほしいとの要望がありましたので、市といたしましては、必要な看板の枚数や統一した仕様を提出いただいた中で、検討すると回答しております。

今後、公費で負担すべき経費につきましては、充分内容を精査検討し、予算の確保に努めてまいります。



小林恵理子 議員  
〔日本共産党〕

### その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆憲法第25条を保障する生活保護制度のあり方について
- ◆重度心身障害者医療費助成の窓口無料化存続について
- ◆武田の里ライフカレッジにおけるサークルの会場費負担について
- ◆地方公務員給与の削減について

## 「子ども・子育て支援新制度」の問題点について

**質問** 政府は、「子ども子育て関連3法」の実施準備を急いでいます。「国と自治体の保育に対する責任を後退させ、保育を営利化・産業化させるもの」と「父母・保育関係者・各層から、大きな反対の声と運動が起こったものです。法案は修正され一定改善されましたが、骨格と問題点は基本的に変わってはいません。

**回答** 市町村が保育を必要とする子どもに責任を持ち、保育所での保育を基本に進めるといふ元の児童福祉法の見地から大きく後退し、保育に対する公的責任を限定・縮小しようとするものです。公立保育園の担う部分や責任を後退・縮小させることなく、住民の要求にもとづきさらなる充実を図っていくべきです。市の見解は。

自治体の人口予測や廃

**質問** 市長 国の子ども・子育て会議において議論がされており、明確な見解は示せないが、再編保育園はもちろん、他の保育園においても、現状の保育サービスを拡充することはあっても、後退・縮小させる考えはありません。

## 新可燃ゴミ処理施設建設について

**質問** 峡北広域行政事務組合は、新たに可燃ゴミ処理施設を建設する方向で進めています。広域処理のあり方を、自治体と住民が協力して、抜本的に見直していかなければならない時期がきています。

**回答** 広域処理組合主導の焼却炉建設は、自治体と住民不在になりがちであり、ゴミを減らそうという流れからは遠くになりがちです。

廃物処理長期計画など、従来の焼却中心ではなく、「ゴミを元から減らす」ことを基本に据えたものにする必要があります。市民レベルでの検討をすべきです。そして身の丈にあった施設をつくっていくべきです。市の見解は。

**質問** 市長 市民協働のもと10品目の資源物回収、生ごみ処理機の購入補助金助成でごみの減量化を図っている。環境教育や広報活動など同じ更なる減量化に努めていく。新施設建設は、環境への負荷の少ない資源循環型社会の構築を念頭に、環境や施設建設の専門家、市民、構成市による建設計画検討委員会のご意見を拝聴する中で、適正規模・処理方式等を考慮し、進めていく。

# 葦崎市議会議員夏季研修

市の財政に対する認識を高めるため、議員全員による「葦崎市の財政状況について」の研修を行いました。研修では「予算と決算」と題し、市財政担当より「平成24年度の決算速報とともに」を副題で説明を受け、葦崎市の財政の現状を再認識しました。

研修日：平成25年8月2日(金)

講演：「予算と決算」

講師：企画財政課 財政担当リーダー  
長谷川 尚樹氏



## こども議会が開催されました

今年度も8月8日(木)市内の東西中学校2年生18名が議員となり、本会議場で開催されました。

一般質問は、議長、副議長を除く16名が行い、まちづくりや災害対策、また、観光イベントや地域の開発・活性化、税金の徴収の状況など市政各般にわたり、自分の夢や希望を膨らませ質問しました。

答弁は、市長・教育委員長・教育長・課長などが答えましたが、中学生とは思えないほどの立派な質問でした。

議長 <sup>ながい たつや</sup> 長井 達也 葦崎西中学校  
副議長 <sup>かなやま</sup> 金山 みさき 葦崎東中学校

議員	<sup>いまい</sup> 今井	<sup>ゆずは</sup> 柚葉	葦崎東中学校
〃	<sup>やまだ</sup> 山田	<sup>しゅん</sup> 駿	葦崎西中学校
〃	<sup>はやかわ</sup> 早川	<sup>まい</sup> 舞	葦崎東中学校
〃	<sup>しむら</sup> 志村	<sup>あかね</sup> 朱音	葦崎西中学校
〃	<sup>いしはら</sup> 石原	<sup>ゆり</sup> 悠里	葦崎東中学校
〃	<sup>なかざわ</sup> 中沢	<sup>めい</sup> 芽伊	葦崎西中学校
〃	<sup>おざわ</sup> 小沢	<sup>めい</sup> 芽生	葦崎東中学校
〃	<sup>やざき</sup> 矢崎	<sup>せいじゅん</sup> 誠純	葦崎西中学校
〃	<sup>はら</sup> 原	<sup>まさあき</sup> 昌輝	葦崎東中学校
〃	<sup>おぎの</sup> 荻野	<sup>きょうすけ</sup> 恭輔	葦崎西中学校
〃	<sup>かしばぎ</sup> 柏木	<sup>だいち</sup> 大地	葦崎東中学校
〃	<sup>かがみ</sup> 加賀美	<sup>りな</sup> 里奈	葦崎西中学校
〃	<sup>おび</sup> 小尾	<sup>ひでひろ</sup> 英廣	葦崎東中学校
〃	<sup>かねまる</sup> 金丸	<sup>みやび</sup> 雅	葦崎西中学校
〃	<sup>こしいし</sup> 越石	<sup>としき</sup> 利輝	葦崎東中学校
〃	<sup>はたの</sup> 幡野	<sup>ふほう</sup> 富山水	葦崎西中学校

### 葦崎市こども議会



\* 市政への関心を持ち、いつか立派な市会議員になることを期待します。



# 研修報告

## 行政視察

### ■ 韮崎市議会議員3常任委員会研修

韮崎市議会では、「韮崎市議会・3常任委員会合同研修」を7月31日から8月1日の1泊2日で、議会改革について先進地の視察研修を行いました。

今回、議会改革先進地である所沢市議会及び流山市議会の改革の状況を研修いたしました。中でも、議会基本条例にも表記している議員間自由討議に対し、議会等の運営方法も含め、質疑応答により有意義な研修がなされました。

研修日：平成25年7月31日(水)  
平成25年8月1日(木)



### ■ 山梨県市議会議長会議員合同研修

山梨県市議会議長会議員合同研修の一環として、八ヶ岳ロイヤルホテルにおいて研修が開催され、本市議員の多数が出席されました。

研修日：平成25年8月9日(金)

講演：「地方分権に対応し得る奈良県生駒市から発信する新しいまちづくりの手法」 —奈良県生駒市長の地方自治の哲学—

講師：奈良県生駒市長 山下 真 先生



## 編集後記

6月議会では、韮崎市職員の給与の臨時特例に関する条例と共に、韮崎市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例を議決し、職員給与及び議員報酬の一部を削減することいたしました。

市の財政を考え、市民サービスの低下をさせないよう充分考慮し市民の安全・安心を確保していきたいと思えます。

私ども市議会議員も、市民の皆様の福祉向上のため、さらに議会活動に取り組んでまいります。

### 議会だより編集委員会

委員長	野口 紘明
副委員長	岩下 良一
委員	清水 一
委員	藤嶋 英毅
委員	森本由美子
委員	興石 賢一
委員	小林 伸吉

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| 9月 5日 | 開会<br>諸報告<br>市長所信表明 |
| 17日   | 代表・一般質問             |
| 18日   | 一般質問                |
| 19日   | 議案審議                |
| 20日   | 委員会                 |
| 24日   | 財務常任委員会             |
| 25日   | 委員会(予備日)            |
| 26日   | 議案審議<br>委員長報告<br>閉会 |

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会で正式に決定されます。  
※委員会を傍聴する場合には事前に申し込んでください。  
※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。  
※9月定例会では、会派代表質問を行います。

## 9月定例会日程(予定)